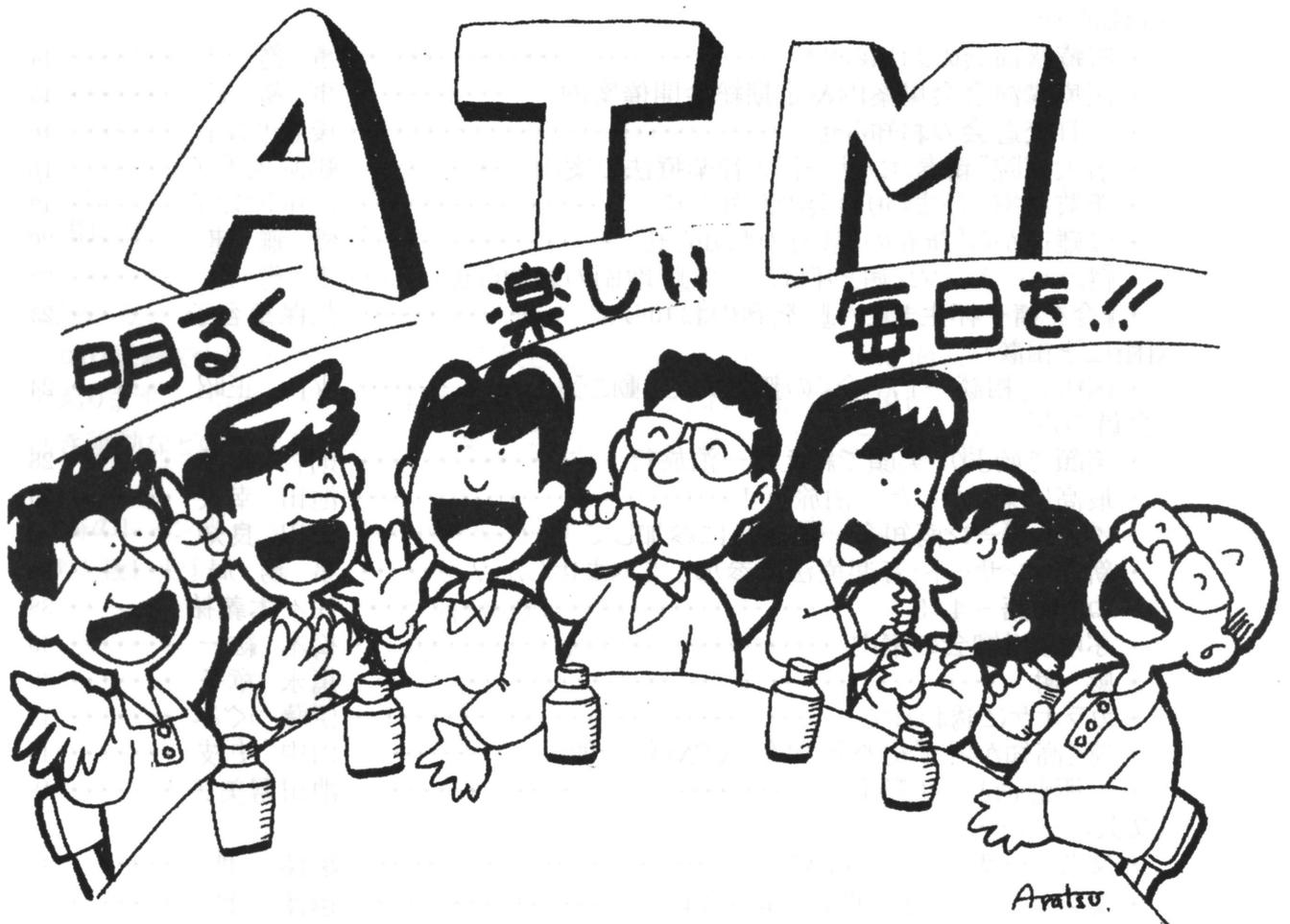


SSKA 全国パーキンソン病友の会会報  
愛知県版 49号



会員の皆様、明けましておめでとうございます。さあ～、2010年の幕明けですよ！今年も皆様の声で会員の皆様がますます元気になられますよう 会報はその仲介役を務めます。暖冬の予想に反して厳しい寒さが続きましたが、1月の新春コンサートに始まって、2月も医療講演会や一日交遊会が待っています。これで寒さを吹っ飛ばすと、もう梅や桜となって春は目の前ですよ！  
(池田)

# 一年の計は元旦にあり

会長 大道 忠弘

## 〈2～3月の行事予定〉

・冬の医療講演会	: 2月20日(土)		一宮スポーツ文化センター
・冬の一日交遊会	: 2月25日(木)		北生涯学習センター
・東海ブロック会議	: 2月 5日(金)		熱田図書館
・音楽療法	: 2月 9日(火)	3月 2日(火)	名大付属病院ナディック
・ひまわりの会	: 2月18日(木)	3月18日(木)	熱田図書館
・新春の集い	: 2月14日(日)		老人保健施設・わかばの里
・定例役員会	: 2月 6日(土)	3月 6日(土)	東海事務所(参加自由)

## 目次

〈巻頭集〉			
・一年の計は元旦にあり	.....	大道 忠弘	..... 3
・薬の話・パーキンソン病の自律神経障害	.....	平山 正昭	..... 4
・EBMとオーダーメイド治療 第十二回	.....	渡辺 宏久	..... 10
〈お知らせ〉			
・医療講演会のお知らせ	.....	事務局	..... 14
・医療講演会会場案内&定期総会開催案内	.....	事務局	..... 15
・一日交遊会のお知らせ	.....	後藤サヨ子	..... 16
・名大病院”新春コンサート”と音楽療法の案内	.....	鶴飼久美子	..... 18
・手芸教室 ひまわりの会のお知らせ	.....	山尾佐知子	..... 19
・愛難連から「新春の集い」のお知らせ	.....	愛 難 連	..... 20
・『もうパーキンソン病と呼ばないで』増刷のお知らせ	.....	事務局	..... 22
・『今を精一杯生きたい』発刊のお知らせ	.....	久保田容子	..... 23
〈困りごと相談〉			
・困りごと相談-17 全くの無気力で、動こうとしない	.....	平山 正昭	..... 24
〈会員の声〉			
・笑顔で始まり、笑顔で終えた一泊旅行	.....	則竹 和子	..... 28
・最高に楽しかった一泊旅行！	.....	池田 幸夫	..... 30
・ピラ・マリン南知多一泊旅行に参加して	.....	山田 良知	..... 32
・新春コンサート:音楽療法に参加してみませんか？	.....	事務局	..... 34
・ねこ物語-4, 5	.....	佐々木義祐	..... 38
・ぷらな川柳会の案内	.....	松本 紘一	..... 40
・感謝	.....	篤永 章子	..... 42
・カラオケに誘われて	.....	伊藤つぐみ	..... 44
・遠く高知から『友の会の歌 ATM』の便り	.....	山中 史枝	..... 46
・一所懸命と一生懸命	.....	池田富美子	..... 48
〈文芸コーナー〉			
・文芸コーナー(1) ATM	.....	越澤 博	..... 49
・文芸コーナー(2) 自句自解・賀状	.....	越澤 博	..... 50
・竹頭木屑	.....	越澤 博	..... 51

皆さん、明けましておめでとうございます。

今年もやる事が多く、何かから手をつけてよいのか分からない状態が続いております。またこのままだと今までと同様何もできずに中途半端に終る可能性が大の為、そこで「一念発起」、一つでも二つでも皆さんに役立つ事がしたいと考えました。

今年の7月21日の誕生日で「古希」を迎える歳になり、このまま人生を終えることの無いように、出来の悪い我が頭で考えた末の結論であります。

ある人にとっては余計な事かも知れませんが、とにかく出来ることから手をつけようと考えました。まず、「人」という字は ● が支点で支え合っているという事だそうです。

又働くとは「はたを楽にする」という意味を含んでいるということ。「このような段階(レベル)または目線から入っていく事で案外スムーズに入って行けるものだよ」と教えて頂きました。

簡単な事でも継続し、続けることが大切であるという事。この様にして探していきますと案外多くあると思ひ、その後も本屋での立ち読みを一生懸命にやっておりますが、こちらの方もたまには買ってあげないと睨まれますのでまずまず行きつけの本屋さんを見つけ店員さんと仲良くすることですね。

それで何軒か使い分けが必要です。そういう意味合いから最近図書館に通っております。本を読むことによりいろいろと知識も入り、又ボケ防止にも役立ちますのでそれ以来せつせと図書館通いをしている毎日です。

またいろんな人と友達になれることもいいですね。たまにはその人達とカラオケに行つて、思い切り軍歌でも歌うと気持ちがあすつと致しますから。その他いろいろと面白い事にも参加をしております。市区町村や保健所等が主催している、お年寄りを対象にした健康対策や生き生き運動などの行事に参加して、楽しく明るく一日を過ごして行くことが大切ですね。

岡崎のレインボー友の会の沼田さんから頂いた、「一日一訓」なるものを紹介しまして終わりと致します。

### 《一日一訓》

- 一日一喜 : 一日に一つ、喜びを見つける
- 一日一新 : 一日に一つ、新しい発見をしよう
- 一日一つのストローク : 一日に一つは、自分を認めること
- 一日一外 : 一日に一回は外に出る
- 一日一笑 : 一日に一つユーモアを
- 一日一音 : 一日に一回は楽しい音を聴く
- 一日一動 : 一日に一回は身体を動かす
- 一日一想 : 一日に一回、楽しいイメージを
- 一日一言 : 一日に一言、楽しくなる言葉を口にする
- 一日一交 : 一日に一度は、心が触れ合う交わりを

## 薬の話・パーキンソン病の自律神経障害

名古屋大学神経内科 平山正昭

すみませんが、今非常に忙しくて書いている暇がありません。実は、もうすぐ日本神経学会から、パーキンソン病治療のガイドラインがあるのですが、その解説本を書いてほしいと言うことで、てんでこ舞いです。何でガイドラインに解説本がいるのかはよくわかりませんが、頼まれてしまったのでこれが今の最大の仕事です。今回は、すみませんが、以前医学雑誌に書いたパーキンソン病の自律神経障害という特集で書いたものをそのまま掲載します。

パーキンソン病は、James Parkinson が安静時の振戦と無動を伴う疾患として”An Essay of shaking palsy”で報告して以来、10万人に100人発症する頻度の高い神経変性疾患として知られている。この頻度には人種差や男女差はないとされている。

James Parkinson の原著では便秘や排尿障害などの自律神経障害を伴うことが報告されていたが、L-dopa 治療により劇的な運動障害の改善があったために、自律神経障害はあまり問題視されないことが多かった。

しかし、パーキンソン病の特徴的な病理像である Lewy 小体は、黒質線条体系ドーパミン作動性ニューロンのみならず中枢および末梢の自律神経系にも広範な病変が存在することが知られている<sup>(1)</sup>。生化学的にも、大脳皮質や、辺縁系、線条体以外にも視床下部などにノルエピネフリンの減少が見られている。

そのため現在では、パーキンソン病を錐体外路疾患としてとらえるだけでなく、自律神経症状や痴呆などの出現する変性疾患としてとらえることが重要になってきている。

近年 Braak らは、パーキンソン病の病理の進行により stage を1から5に分けている。彼らは、健常者を含めた剖検病理の Lewy 小体の出現の程度を分類し、黒質に Lewy 小体が発見される場合にはすでに迷走神経背側核や嗅球に存在し、Lewy 小体は迷走神経背側核や嗅球より最初に出現することより、パーキンソン病の発現機序の初期症状として自律神経症状が重要と考えている<sup>(2)</sup>。

### 自律神経症状

#### 流涎

流涎は、パーキンソン病に多い自律神経障害とされているが、流涎の出現の定量的な報告は少ない。唾液の量は、パーキンソン病の進行に伴いむしろ低下するとの報告や age match した報告でも、唾液の産生はパーキンソン病でむしろ健常者に比べて低下しており、病気の

進行と唾液の産生量とは関連がないとする報告がみられている。

したがって、嚥下の悪化が、流涎の原因であるとする考え方が多くなっている。

#### 便秘

便秘はもっとも高頻度で出現する自律神経症状である。パーキンソン病の発症前より出現することが多い。また便秘の人はパーキンソン病になりやすかったとする報告も見られる<sup>(3)</sup>。パーキンソン病の進行に伴い出現頻度は多くなる傾向がある。

また、パーキンソン病の治療薬である抗コリン薬、L-dopa 製剤、ドパミンアゴニストは腸管の蠕動を抑制する作用があるために症状を増悪させている。

便秘に気付かなかった患者が抗パーキンソン病薬治療後に便秘の悪化を見ることは多い。

電気生理学的にも胃電図や腸電図で異常が見られ<sup>(4)</sup>、胃や小腸、大腸の食物通過時間はすべて延長する。また、病理学的には、消化管の Auerbach 神経叢には食道下部で特に Lewy 小体が多発し、胃や小腸、大腸にも見られる<sup>(5)</sup>。

また、消化管を支配する脳幹の迷走神経背側核や仙髄の中間質外側核にも Lewy 小体が発見される。便秘の治療については、多くの患者では、緩下剤の使用や腸管蠕動促進剤で治療が可能であるが、しばしば重症例では麻痺性イレウスとなる。

巨大結腸となった例も報告されており、筆者は多系統萎縮症(MSA)よりも治療抵抗性であることが多い印象を受けている。

#### 排尿障害

頻尿の頻度が多く、特に夜間の頻尿が目立つ。この異常について、蓄尿期、排尿期のいずれにも異常がみられている。排尿障害の発現の首座については中枢性とする報告が多い。動物実験では、基底核の病変で、排尿筋の過反射が起こるとされている。

排尿筋の筋電図は、MSA では異常がみられるが、パーキンソン病では異常がみられないとされている。

MSA のような無緊張性膀胱となり、導尿を必要とするほどの神経因性膀胱となることは少ないが、夜間頻尿のために介護者などの負担が多くなるため臨床上問題となることも多い<sup>(6)</sup>。L-dopa の治療により排尿障害が悪化するかどうかについては、一定した見解がないが、抗コリン剤は有効であるとする報告が多い。

#### 呼吸障害

パーキンソン病の呼吸障害は MSA にみられる Cheyne-Stokes 呼吸や Biot's 呼吸のような呼吸のリズム異常は見られない。しかし、睡眠時無呼吸の頻度については増加や低酸素に対する呼吸応答が低下した報告が見られる<sup>(7)</sup>。両側の声帯外転麻痺(ゲルハルト症候群)は、MSA では、しばしばみられる。パーキンソン病での出現はまれで MSA-P とパーキンソン病を鑑別する際に重要な所見となる。

## 起立性低血圧

MSA のような高度の起立性低血圧が出現することは少ないが、起立試験を行った場合には、初期より軽度から中等度の起立性低血圧が存在する。

起立前の安静時の血漿ノルアドレナリンは軽度に低値であり起立試験での末梢交感神経より放出されるノルアドレナリンの反応性上昇も軽度に低下する。ノルアドレナリンの静注試験による過剰血圧上昇反応も健常人に比べて有意に増加し、重症度と相関する。しかし、視床下部より放出されるヴァゾプレシンの上昇は保たれている。

したがって、パーキンソン病の起立障害の首座は、末梢の交感神経障害によると考えられている。中枢型の自律神経障害を呈するMSAとの鑑別に有用である。起立だけでなく食事による低血圧は1977年に自律神経障害を伴ったパーキンソン病患者で報告され、その後MSAや高齢者など自律神経障害を有する患者で高頻度にみられる。食事性低血圧の出現頻度は、起立性低血圧よりも多いとする報告がある。

## 心筋 meta-<sup>123</sup>Iiodobenzylguanidine (MIBG) シンチ

我々の報告では、60歳以上発症のパーキンソン病のほぼ全例に、MIBGで異常が認められる<sup>(8)</sup>。この異常は、発症早期より出現することが多く、また進行に伴って異常の出現率が多くなる。一方、MSAでは、発症早期に異常が出現する例は少なく、両者の鑑別に有用である。

さらに、後述する自律神経障害の著しいパーキンソン病の全身のMIBG所見は、心臓でのMIBGの取込みが低下するだけでなく四肢末梢でのMIBGの取込みが低下しており、心臓だけでなく血管への交感神経の障害も存在すると考えられる<sup>(9)</sup>。

MIBGが早期に異常となる原因については、病理学的には心臓交感神経を染色した場合に、パーキンソン病では染色性が低下しており、一方MSAでは低下していないとの報告が見られる<sup>(10)</sup>。我々も、パーキンソン病の自律神経異常は末梢の自律神経から始まるのに対して、MSAの自律神経は中枢の自律神経系から障害が始まると考えている。

また、薬理的には、選択的なβ1刺激剤であるドブタミンに対する過敏反応が存在し、健常者では変化しない濃度で、血圧や脈拍の増加、不整脈の頻度も増加する。MIBGのH/M比と選択的なβ1刺激剤であるドブタミンに対する心筋収縮力や血圧の反応は相関している<sup>(11)</sup>。

## 筋交感神経活動

MIBGと同様に、筋交感神経活動も年齢依存性に初期より異常が見られることが多い。筋交感神経活動は、年齢が高くなると健常者ではその発射頻度は増加することが知られている。一方、パーキンソン病では、年齢が高くなると筋交感神経活動が出現しなくなることが多い<sup>(12)</sup>。また、筋交感神経活動は、l-dopaの静注により抑制される。その機序は、中枢性、末梢性両者の効果が考えられている。

## 発汗障害

パーキンソン病において発汗障害の頻度は高い。抗パーキンソン病薬は発汗障害に影響は与えない。精神性発汗は罹病期間や重症度に相関するが、温熱性発汗は必ずしも罹病期間や重症度と相関しない。精神性発汗障害の程度と心血管系の障害の程度は必ずしも相関しないが、起立性低血圧やインポテンツなどが合併するような自律神経障害が高度になるにつれて発汗障害が多く見られる。

発汗過多は、off時やon時のdyskinesiaのある場合に多いとされており、off時の発汗過多はl-dopaの投与により改善される<sup>(13)</sup>。発汗障害は、少なくとも初期には中枢性の障害が原因と思われるが、末期には必ずしも中枢性だけでなく節後性の障害も合併すると考えられる。発汗障害はQOLに影響を与える問題であるが、現在有効な治療法として報告されているのは、off時の発汗過多について適切な抗パーキンソン病薬の投与しかみられない。

## 網状青斑

下肢を中心にしてみられ皮膚の冷感を伴うことが多い。表在静脈の収縮と血流うっ滞によるものでアマンタジンの副作用としておきやすい。

## 下肢の浮腫

アマンタジンやドーパミンアゴニストの副作用としておきやすいが、パーキンソン病患者では、前述のように末梢血管の収縮異常や心臓交感神経の異常があるため、自律神経異常も関与している可能性がある。

## 睡眠障害

パーキンソン病患者では、restless leg 症候群、REM睡眠行動障害などの睡眠障害を有する割合が多い。また、REM睡眠行動障害患者では、その後パーキンソン病が発症する確率が高い。しかし、パーキンソン病の睡眠障害には、上記による一時性のもの以外に夜間における幻覚や頻尿、薬のoffにより身体のこわばりが生じるなど多くの要因を含んでいる。さらに、抗パーキンソン病薬は、アマンタジンやMAO阻害剤をのぞき眠気の副作用を起こしやすい。特に、非麦角系のドーパミンアゴニストでは、突発性睡眠の出現が報告され、その後他のアゴニストやl-dopaでも過量により生じることが報告されている。

## 類縁疾患

### 自律神経障害の著しいパーキンソン病

パーキンソン病では、初期より自律神経障害が高度な一群が存在している。Bannisterらは、自律神経障害を有する進行性の自律神経不全を三群に分け、純粹型自律神経不全症、MSA、自律神経障害の著しいパーキンソン病として分類しているが、このtypeのパーキンソン

ン病では、全身の MIBG を撮った場合に心臓だけでなく四肢末梢の交感神経も障害されている。また、自律神経障害の著しい type のパーキンソン病は、その後痴呆や精神症状を伴いやすいため臨床問題となることが多い。

#### 汎 Lewy 小体病

痴呆を主症状とし、痴呆の出現1年以内にパーキンソニズムを呈する新たな痴呆性疾患として注目されている。自律神経障害を合併することが多く、しばしば失神などの症状を呈することが多い。

また、前述の MIBG は Lewy 小体型の痴呆とアルツハイマー型の痴呆を鑑別する際にも有用である。

アルツハイマー型痴呆では、MIBG には異常は見られず、Lewy 小体型痴呆では高頻度に異常が見られる<sup>(13)</sup>。

現在、パーキンソン病に伴う痴呆との関連が問題となっており、病理学的には汎 Lewy 小体病とパーキンソン病をはっきりと区別できないとされている。

#### 純粋型自律神経不全症

体性症状を生じず、純粋に自律神経障害のみを有する自律神経不全症であり、まれな疾患とされている。

臨床病理学的検討では、呼吸異常を除く自律神経症状は進行するが、ADL は比較的保たれる<sup>(15)</sup>。しかし、剖検の報告では、Lewy 小体が交感神経節に出現し、時に脳幹や大脳にも少数みられる。

最近、純粋型自律神経不全症として10年以上経過した症例にパーキンソニズムが合併した例も報告されており、今後 Lewy 小体病との異同が問題となってくると考えられる。

#### 進行性核上性麻痺、皮質基底核変性症

初期よりパーキンソニズムを呈するためにパーキンソン病との鑑別が重要になる。

軽微な自律神経症状を呈することはあるが、明らかな自律神経症状は出現せず鑑別点として重要である。

#### 注

- (1) Hishikawa N, Hashizume Y, Yoshida M, et al : Clinical and neuropathological correlates of Lewy body disease. *Acta Neuropathol (Berl)* 105 : 341-350, 2003
- (2) Braak H, Del Tredici K, Rub U, de Vos RA, Jansen Steur EN, Braak E.: Staging of brain pathology related to sporadic Parkinson's disease. *Neurobiol Aging* 24:197-211, 2003
- (3) Abbott RD, Petrovitch H, White LR, et al : Frequency of bowel movements and the future risk of Parkinson's disease. *Neurology* 57 : 456-462, 2001
- (4) Kaneoke Y, Koike Y, Sakurai N, et al : Gastrointestinal dysfunction in Parkinson's disease detected by Electrogastroenterography. *J Auton Nerv Syst* 50: 275-281, 1995
- (5) Wakabayashi K, Takahashi H, Takeda S, et al : Parkinson's disease: the presence of Lewy bodies in Auerbach's and Meissner's plexuses. *Acta Neuropathol (Berl)* 76 : 217-221, 1988
- (6) 榊原隆次, 内山智之, 芳山充晴ほか : パーキンソン病の膀胱障害. *脳と神経* 53 : 1009-1014, 2001
- (7) Kanda A, Ebihara S, Arai H, et al : Parkinson's disease and impaired chemosensitivity to hypoxia. *Lancet* 16;356(9247):2100, 2000
- (8) Hamada K, Hirayama M, Watanabe H, et al : Onset age and severity of motor impairment are associated with reduction of myocardial (123)I-MIBG uptake in Parkinson's disease. *J Neurol Neurosurg Psychiatry* 74 : 423-426, 2003
- (9) Hirayama M, Hakusui S, Koike Y, et al : A scintigraphical qualitative analysis of peripheral vascular sympathetic function with meta-[123I]iodobenzylguanidine in neurological patients with autonomic failure. *J Auton Nerv Syst* 53 : 230-234, 1995
- (10) Orimo S, Ozawa E, Oka T, et al : Different histopathology accounting for a decrease in myocardial MIBG uptake in PD and MSA. *Neurology* 57 : 1140-1141, 2001
- (11) 中村友彦, 平山正昭, 伊藤宏樹ほか: パーキンソン病におけるドブタミン負荷試験の有用性—MIBG心筋シンチを中心に— 自律神経(印刷中)
- (12) 伊藤宏樹, 平山正昭, 家田俊明ほか: 50歳未満発症のパーキンソン病の自律神経障害. *臨床神経学* 41:894, 2001
- (13) Hirayama M: Sweating dysfunction in Parkinson's disease. *J Neurol* 253 suppl 7: 42-47 2006
- (14) Watanabe H, Ieda T, Katayama T, et al : Cardiac (123)I-meta-iodobenzylguanidine (MIBG) uptake in dementia with Lewy bodies: comparison with Alzheimer's disease. *J Neurol Neurosurg Psychiatry* 70 : 781-783, 2001
- (15) Mabuchi N, Hirayama M, Koike Y et al: Progression and prognosis in pure autonomic failure (PAF): comparison with multiple system atrophy. *J Neurol Neurosurg Psychiatry* 76: 947-52. 2005

## EBM とオーダーメイド治療

### 第十二回 ; 脳深部刺激療法と構音障害

名古屋大学神経内科 渡辺宏久

#### 1, はじめに

この連載では、パーキンソン病の運動機能以外の症状を中心として、最新の標準的治療基準をご紹介しますとともに、これまでの治療経験を通じて試してみる価値があるかもしれないと  
思っている治療やリハビリテーションの方法などをご紹介します。

第一回 ; EBM って何ですか

第二回 ; 嚥下

第三回 ; 日中の予期せぬ睡眠

第四回 ; パーキンソン病と心臓弁膜症

第五回 ; 腰曲がり

第六回 ; 排尿障害

第七回 ; 流涎(よだれ)

第八回 ; うつ(1)

第九回 ; うつ(2)

第十回 ; 幻視(1)

第十一回: 幻視(2)

と回を重ねておりますが、第十二回のテーマは、「脳深部刺激術と構音障害」です。

#### 2, 脳深部刺激療法の有用性

パーキンソン病において、視床下核(ししょうかかく)や淡蒼球(たんそうきゅう)の深部刺激療法は、運動合併症の軽減と運動機能の向上に極めて有用な方法で、数多くのエビデンスのある治療法です。本邦に導入されてから10年以上が経過し、多くの施設で行われるようになりました。名古屋大学でも脳神経外科の梶田泰一准教授のグループにより精力的に深部刺激療法が実施されています。

脳深部刺激術によって、ウェアリングオフ現象、薬剤抵抗性の振戦、オフ時の有痛性ジストニアなどの改善や、抗パーキンソン病薬の減量とそれに伴うジスキネジアの軽減などが期待されます。実際、薬物治療のみでは改善が難しいパーキンソン病症状に対する深部刺激療法の有用性には神経内科医として驚かされることも事実です。

一方、構音障害(こうおんしょうがい)、歩行、姿勢保持障害、すくみ足などに対する改善効果はまちまちで、人によっても異なります。一般に、これらの症状にレボドパが効く場合(オン

時には効いている場合)には脳深部刺激術の効果も認める可能性が高いとされています。

この他、夜間の動きの悪さや早朝の痛みを伴うジストニアを改善することで睡眠の質を向上する効果、頻尿を改善する効果も期待されています。しかし、残念ながら、病気の進行を止める治療法では無いことも明らかになってきました。

#### 3, 脳深部刺激療法の合併症

多数例の経験が集まった結果、新たな知見が得られています。最近では、より早い時期(発症後5-7年)に手術を行った方が治療効果は高いという報告や指摘があります。しかし、内科的介入がまだ出来る時点で手術に踏み切る際には、手術に伴う合併症や副作用を医師も患者さんも十分に知る必要があるとの意見も一方ではあります。

以前から良く知られている合併症としては、手術に伴う脳出血、挿入した装置の断線、局所の感染などが知られています。こうした合併症は、侵襲的な手技で、機械を体内に挿入する手技であることから、一定の頻度を持って生ずることは避けられないと言われています。頻度の差は報告によって大きく、出血一つとっても0.2%-12.5%となっています。この理由として、どの程度までを出血としたのか、出血の評価はどのように行ったのか、患者さんの背景はどうであったのか(高血圧の人では出血のリスクが高いと言われています)、など判断基準や患者背景の違いが強く影響していると考えられています。

最近では、手術自体や装置に関連した合併症以外に、刺激に関連した合併症が数多く報告されるようになりました。中でも無為、無関心、自殺率の増加などは、刺激術との関係が確立されていないものの臨床的に注意すべき点です。さらに、言葉の流暢性の障害、小声といった構音障害も近年注目されている合併症です。

#### 4. 視床下核深部刺激療法に伴う構音障害の原因

以下、本題の視床下核深部刺激療法に伴う構音障害の原因を考えてみます。実際は様々な言葉の障害に対して、それぞれ対応する医学用語があるのですが、ここでは混乱を避けるため、全て構音障害で統一させていただきます。

まず、パーキンソン病では長期になられた方を中心に構音障害が出現する場合があります。深部刺激療法を行った時期がたまたま発音の悪化時期と重なった可能性を考慮する必要があります。ちなみに、パーキンソン病で認められる構音障害としては、小声、抑揚の低下以外に、どもりや、同じ言葉を繰り返すといった現象も知られています。

深部刺激療法と関連する構音障害の原因の1つとして、錐体路(すいたいろ)と呼ばれる部

位へ刺激の影響が及ぶことが考えられています。錐体路と呼ばれる構造物は、深部刺激療法の対象部位となる視床下核と呼ばれている場所のすぐ近くにあり、錐体路には、脳表面から身体各運動に関わる線維が集まっており、錐体路の障害により麻痺が生じます。視床下核の深部刺激療法では刺激電極の電圧を上げることでその効果を発揮するのですが、上げた電圧が錐体路にも影響を及ぼして舌や口の動きが悪くなる症例のあることが分かっています。

しかし、全ての言語障害の原因がこれによるものではありません。脳は様々な部位と大変複雑なネットワークを作っていますが、視床下核も例外ではなく、視床下核は大変小さな構造ながら、その中は非常に複雑になっており、各視床下核の領域が脳の様々な部位とネットワークを作っていることが知られています。そのネットワークの全容は未だ解明されておらず、不明な部分が沢山残されています。

実際に我々は、舌や口の動きの麻痺は全くないにもかかわらず高度の構音障害を呈した患者さんを経験しております。その方の神経学的所見や脳機能画像所見を通じて、1) 視床下核は言語に関連する領域ともネットワークを有しており、電圧に関係なく深部刺激療法そのものが構音障害の原因になっている症例のある可能性や、2) 視床下核の周囲には言語に関連する領域と密接に結びついている線維が走っており、深部刺激療法の電圧が上がり、その線維に影響を及ぼすことが構音障害の原因になっている症例もある可能性などを考えています。

## 5. 構音障害の治療

### 5-1. 刺激の調整

刺激強度を上げる途中で言語障害が生じた場合には、電圧の影響が錐体路に及んでいる可能性があり、電圧を下げることで症状が改善することが期待されます。また、近年は刺激部位を複数有する電極が利用される場合も多いので、錐体路から少しでも離れた部位を刺激電極として使うと良いとの報告もあります。

しかしながら、一般に刺激強度を下げると動きが悪くなるため、“しゃべり”と“動き”のバランスを取りながら、その方にとって最適な刺激部位を探索していく必要があるとされています。

### 5-2. 薬剤の調整

深部刺激療法に対する期待として薬剤の減量効果を挙げる方が多く、実際、薬剤を減量することでジスキネジアの改善も期待出来ますし、麦角系ドパミンアゴニスト内服に伴う心臓弁膜症やドパミンアゴニスト内服に伴う浮腫といった副作用の予防や改善につながることも期待されます。しかし、安易な薬剤の減量により、動きの低下や構音障害の増悪以外にも、意

欲の低下や鬱気分の誘発などを生ずる可能性もあり注意が必要です。

構音障害に対して薬剤の効果は認めにくいのですが、レボドパやドパミンアゴニストの増量が有効な場合もあります。特に、オフの時に構音障害が目立つ方では、薬剤の調整を考え直してみる必要があると思います。

### 5-3. リハビリテーション

色々なリハビリテーション法が有効であるとの報告がなされています。当施設では、愛知学院大学心身科学部健康学科の山本正彦先生、辰見寛先生、田中康博先生、田中誠先生の協力をいただき、リー・シルバーマン法というリハビリ技術を脳深部刺激療法後に高度の構音障害を呈した方に試してもらっている所です。1回1時間、合計5回程度のリハビリ後、声を発したときの高さが高くなり、声のゆらぎの値も改善されました。

声の高さに対しては、声帯を引き伸ばす輪状甲状筋を中心とした可動性の向上および固縮が改善したこと、声のゆらぎに対しては、呼吸機能の向上および呼吸筋の固縮の改善がそれぞれ寄与したものと考えています。また、一時的な効果ではありますが、声門の閉鎖度と関連する喉頭の雑音改善も認めました。

リー・シルバーマン法は、アメリカで開発された、声を大きくするためのトレーニング方法です。ここでは詳細は触れませんが、私の経験した方では、声を大きく出す訓練をし、普段から声を大きく出すことを意識することで、どもりや同じ言葉を繰り返す現象にも改善効果が認められました。

しかし本方法を用いても、普段から声を大きく出す意識しなければいけませんし、永続的な効果では無いようですが、電話や会話の時に、「声は大きく」と書いた紙を読んでから話しをすることなどの工夫により、日常生活におけるコミュニケーション能力の改善が得られる可能性があり、より多くの方で試みていこうと考えています。

## 6. 第十二回のまとめ

脳深部刺激療法は、薬物療法では対応しきれない運動合併症に大変有効な治療です。一方で、これまで十分に注目されていなかった副作用のあることも分かっています。言語障害もそうですが、まだまだエビデンスの少ない領域ながら、少しでも安心して手術を受けていただくことが出来るように、努力していきたいと思っています。

# パーキンソン病医療講演会



《日時》平成22年2月20日(土)  
午後1時～3時(受付開始12:30)

《会場》一宮スポーツ文化センター  
〒491-0043  
一宮市真清田1丁目2番30号

お問い合わせ先: 愛知県パーキンソン病友の会 事務局  
〒458-0847 名古屋市緑区浦里1-68-508 TEL/FAX:050-3335-4970

**入 場 無 料**

**特別講演** 13:00～14:00

名古屋大学 神経内科  
講師 平山 正昭 先生

「パーキンソン病の病態と治療」

**Q&A** 14:00～15:00

## 【平山正昭先生 プロフィール】

昭和59年 名古屋大学医学部 ローテート研修(協立総合病院)  
昭和63年 名古屋大学医学部 神経内科研究生  
昭和63年 市立岡崎病院 神経内科医師  
平成元年 名古屋大学医学部附属病院 神経内科 医員  
平成5年 名古屋検疫所 検疫課長  
平成8年 名古屋大学医学部附属病院 検査部 神経生理部門  
神経内科 兼任講師

専門領域 パーキンソン病、自律神経 他

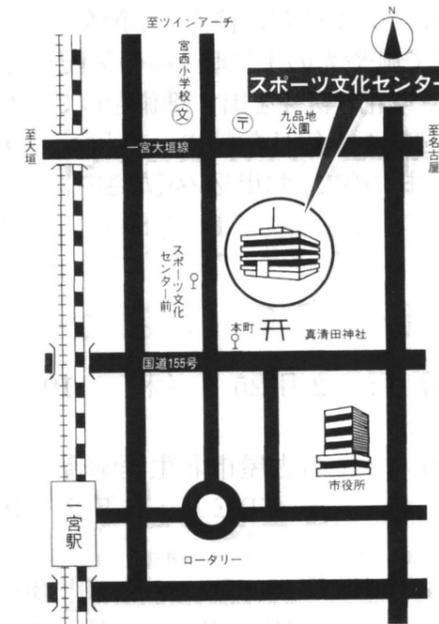
主催: 全国パーキンソン病友の会 愛知県支部

## 2 月度医療講演会会場の交通案内

一宮駅～会場まで徒歩15分です  
天候が良ければ、真清田神社を散歩しながらお出かけ下さい。

名鉄バスご利用の方は行先によって停留所が異なるので要注意!

- 1、山郷西・138タワーパーク行き  
はスポーツ文化センター前下車  
(但し、運行は1時間1本程度)
- 2) 宮田本郷・川島・江南団地行き  
は本町下車  
(運行は1時間に5本と多い)



## 平成22年度・総会と医療講演会のご案内

日時 平成22年5月1日(土) 10:00～15:00

場所 名古屋市総合社会福祉会館・大会議室(7F)  
名古屋市北区清水町四丁目17-1  
(北区役所・保健所と一緒の建物です)

日程 ・総会 10:00～10:30 21年度収支決算・活動経過報告  
並びに22年度活動計画

・体験発表 10:30～11:30

・懇談・昼食 11:30～13:00

・医療講演会 13:00～15:00

講師: 名古屋大学神経内科 渡辺宏久医師

申込: 総会・講演会の申込みは不要です。弁当ご希望の方のみ、申込み下さい。詳細は50号(4月2日発送予定)で案内します。

## 一日交遊会のお知らせ

お正月もあっという間に済んで、節分も過ぎました。寒さの中に有りますが、寒さに向かうのでは無く、風や光の中に暖かさの気配を感じておられる事と思います。

木の芽や草花も新芽を出す準備をしています。硬くなりがちな心と体の解放をして『明るく、楽しい、毎日を』の一日となるように、交遊会に参加してみませんか？ 下記のように開催しますので、お申込みください。

交遊会担当:後藤サヨ子 伊藤フサ子 伊藤岳枝

### 記

・日時 : 2月25日(木) 10時から受付開始、10時30分～15時まで

・場所 : 名古屋市北生涯学習センター 第2集会室(2F)  
TEL:052-981-3636

・日程 : 10:00～10:30 受付  
10:30～12:00 音楽療法  
12:00～13:30 昼食とお話し会  
13:30～14:45 リハビリテーション

・講師 : 音楽療法: 鶴飼久美子先生  
リハビリ: 埜口 義広先生

・会費と弁当: 会費は要りません。人数確認のため、参加の申込みをして下さい。  
お弁当ご希望の方は、一人1000円で用意しますので参加申込みの時に、弁当の要否・数を併せて申込み下さい。  
御自分で弁当を持参されて、一緒にランチするのも楽しいかもしれません。

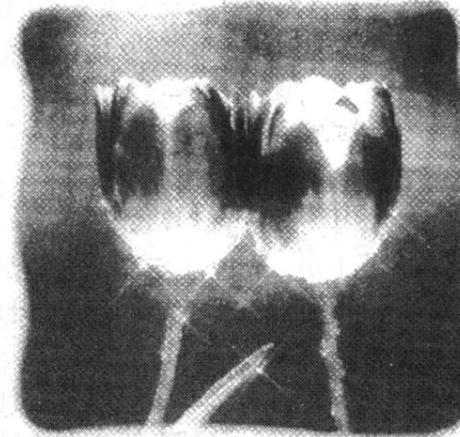
・申込み先: TEL:052-876-1636  
〒458-0005 名古屋市緑区鳴丘1-314 後藤サヨ子

・締切り : 2月18日までにお申込み下さい

・交通 : 地下鉄名城線黒川駅下車4番出口、黒川交差点を渡り左折して30m程で右手の建物(徒歩5分)

・駐車場 : 駐車場は15台ありますが、満車の場合には学習センターを出て、黒川本通りを左折し、次の黒川交差点を左折した角に民間の駐車場があります。

以上



患者さんのために  
信頼と愛が  
いっぱい詰まった

【お問い合わせ先】

**エフピー株式会社**

〒580-0011 大阪府松原市西大塚1丁目3番40号  
TEL:0120-545-427 FAX:0120-728-093  
URL:<http://www.fp-pharm.co.jp>

平成20年6月作成

「ミラクルをちょうだい」。



いのちの尊さにこたえます。

年の瀬もおしそまつ、ある寒い日のこと。  
 言葉もないイーライ・リリー大佐の薬局を訪れた少女は、  
 そう言いながら小さな手に握り締めていた  
 わずかなお小遣いを差し出しました。  
 理由は、母親が重い病気におかれ、医者も周囲の大人たちも  
 「ミラクル(奇跡)だけが頼りだ」と話していたというのです。  
 少女の投げかけた一言の重みを、大佐は深く胸に刻みました。  
 ここから、迷信でもない、ニセ薬でもない、科学に裏付けされた  
 「ミラクル」を探し求めるイーライ・リリーの歩みが始まりました。  
 そして、真に価値ある医薬品づくりを目指した  
 創業者リリーの熱い想いは、  
 100年を経た今日もなお、揺らぐことなく受け継がれています。

イーライ・リリーは世界140か国以上の国々で、真に価値ある医薬品の提供をめざして活動しています。  
 8000人を超える研究開発スタッフがファーストインクラス・ベストインクラスの  
 革新的な医薬品の研究開発に取り組んでいます。  
 リリーの情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://www.lilly.co.jp/>

**日本イーライ・リリー株式会社**  
 〒651-0086 神戸市中央区磯上通7-1-5

## 名大病院 “新春コンサート”

中部学院大学 鵜飼久美子

何か一つのことを行うことは、一人だけの力でできるものではありません。 今回の“新春コンサート”も、一番大きな力は、参加された皆さんの「参加しよう」「参加したい」というお気持ちでした。そして、この日のために毎回のナディックに体調を整えながら参加され、当日は35名の方々の力が結集しました。いずれにしましても、皆さんは相当お疲れになられたことでしょう。

### 皆さん本当にお疲れ様でした！

コンサート前の数日間は、雪が舞ったり気温がぐっと下がったりするなど天候が心配されましたが、2010年1月15日金曜日・コンサート当日は、その心配もはねのけ、無事に“新春コンサート”を開くことができました。

コンサートの司会を務めていた私は、会員の皆様の中にそっと目に手を当てられている方が目に入り、そのお姿に私もぐっとくるものがありました。参加の皆さんには、多少なりとも、お心に届いたものがあったかなと思います。

一昨年のクリスマスコンサートに続いて2回目の試みでしたが、今回は皆さんは自信を持っての演奏だったと思います。改めて、この場をお借りして、参加していただきました皆さんに「ブラボー！」と叫びたいと思います。

### ブラボー！ ブラボー！

昨年6月から、演奏曲を「ビリーブ」と決めトーンチャイムを使った練習を毎回重ねてきました。私は皆さんに「リズムを刻んでタイミングよく腕を振るようにしましょう」と何回も注文をつけていました。これまた、この場をお借りして「ごめんさい」です。お許し下さい。

今回は「中部学院大学・短期大学部ハンドベルクワイヤー」の学生も岐阜県関市からスクールバスに乗って来てくれました。学生たちは、院内でのコンサートで患者さんにごう音楽が届くか、よい経験をさせていただいたと思います。この経験を糧にさらに練習に取り組みたいと言っていました。 皆さんありがとうございました！！

### ナディック音楽療法の予定

2010年 2月9日、3月2日 (4月は13日の予定です)

時間 : いずれも火曜日 午後2時15分～3時30分 (休憩10分)

場所 : 名大病院 広場ナディック (新中央診察棟2階)

問い合わせ・申し込み : TELかFAX いずれかにて下記まで  
052-834-4150 (鵜飼久美子)

※ 留守電のメッセージには、必ずお名前とお電話番号をお知らせください



## 手芸教室ひまわりの会 お知らせ

うっすらと雪化粧でお正月らしく良かったですね。皆様ゆっくりとお体を休められましたでしょうか？ 今年も楽しくおしゃべりをしながら進めたいと思います。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

2010年(平成22年)の日程：第3木曜日、13時～16時まで

- 1月21日(木) 1月の作品の材料は2～3種類を用意しました。今回の材料費は友の会にお願い致しました。
- 2月18日(木)
- 3月18日(木)
- 4月15日(木)
- 5月~~22~~<sup>20</sup>日(木) 今後、自分の作ってみたい事などいろいろ話し合いを致しましょう・今年もよろしくお願いいたします。
- 6月17日(木)
- 7月15日(木)
- 8月・夏休みで休み
- 9月16日(木)
- 10月：図書館の休みなので休み ひまわりの会は皆様のご協力で成り立っています。
- 11月18日(木)
- 12月16日(木) 是非、一度出かけて下さい

◎ 場所・・・熱田区 熱田図書館 集会所 (出入り口入ってすぐ左)  
TEL 052-671-6600 (10:00～ 月曜休み)

JR熱田駅前(名古屋方面に向かって左 徒歩110m)

※ 車でお越しの場合は、区役所地下駐車場に入れて下さい。  
駐車券は、図書館で無料化の認印を貰えます。

◎ 時間・・・13:00～16:00

◎ 連絡先・・・山尾佐知子：090-6362-2083、052-622-8675  
肥後ひとみ：090-5863-6474

## 第2回NPO愛難連

# 新春のつどい

## 音楽劇とアルパの演奏で楽しみませんか？

みなさん、こんにちは！

新しい年の幕開けです。今年こそは、多くの人々にとって、明るいそして  
生きている喜びを実感できる年にしたいものですね。

そんな主催者の思いも込めて、NPO愛難連の「第2回新春のつどい」を  
下記のように企画しました。

「1年1回ぐらいは、気楽に楽しめるものを！」という会員さんの声から  
始まったのが、この取り組みです。

今年の内容は、音楽と語りとパステル画による音楽劇「雲の上の鐘」と南  
米の民族楽器「アルパ」の演奏です。

ぜひ、多くの方にご参加いただき、お楽しみいただければと思います。

患者・家族の方はもちろん、「難病ってどんな病気のこと？」という一般の  
方のご参加も大歓迎です。ぜひ一緒に楽しみませんか？

多くの方のご参加を、心からお待ちしています。

2010年1月吉日

NPO法人愛知県難病団体連合会

連絡先：名古屋市中村区松原町 1-24

COMBI本陣 N105

電話：052(485)6655

《とき》2010年2月14日(日) 1:30~3:00

《ところ》老人保健施設・わかばの里 4階ホール(地図裏面)

名古屋市北区城東町 5-114

(地下鉄環状線「志賀本通駅」下車①番出口から徒歩5分)

《内容》第1部 音楽劇「雲の上の鐘」

第2部 民族楽器「アルパ」による演奏

《参加費》200円(本格コーヒー又は紅茶にクッキー付)

## 演目の紹介

### ☆音楽劇「雲の上の鐘」

難病の少年と、日本で初めて生まれたシロイルカ(名古屋港水族館)のあか  
ちゃん「ベル」の実話に基づいた物語。

『地球上ではほとんど動かさなかった君の体も今は自由だ。ベルと一緒に雲  
の上で泳いでおくれ・・・』

### ☆民族楽器「アルパ」による演奏

「アルパ」とは、南米のハーブで、スペイン語でハーブの意味です。内陸国パラグ  
アイ製アルパの完成度が高く、ほとんどの方が使用しており「パラグアイハーブ」「イ  
ンディアンアープ」などと呼ばれることもあります。

爪で弦を弾いて演奏するので、音は琴やギ  
ターに似ているとも言われます。

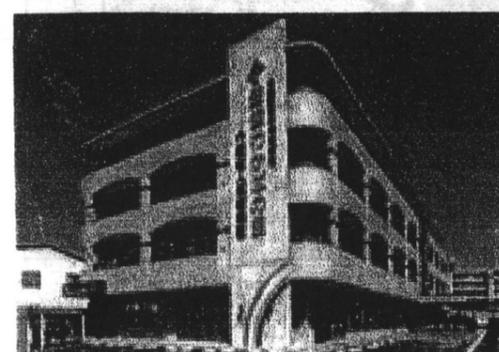
曲目は、ふるさと・浜辺の歌・コーヒール  
ンバなど、おなじみの曲ばかりです。



### 《会場のご案内》



会場:老人保健施設わかばの里



地下鉄環状線

〈志賀本通駅〉1番出口

から南へ徒歩5分

(ここにEVあり)

みなさんのお越しを  
お待ちしております！



# もうパーキンソン病と呼ばないで

全国パーキンソン病友の会愛知県支部長 丹羽浩介著

明るく、楽しい、毎日を (ATM)・・・丹羽さんが残された言葉です。

この本の眼目は ① パーキンソン病に対する社会の理解を得ること

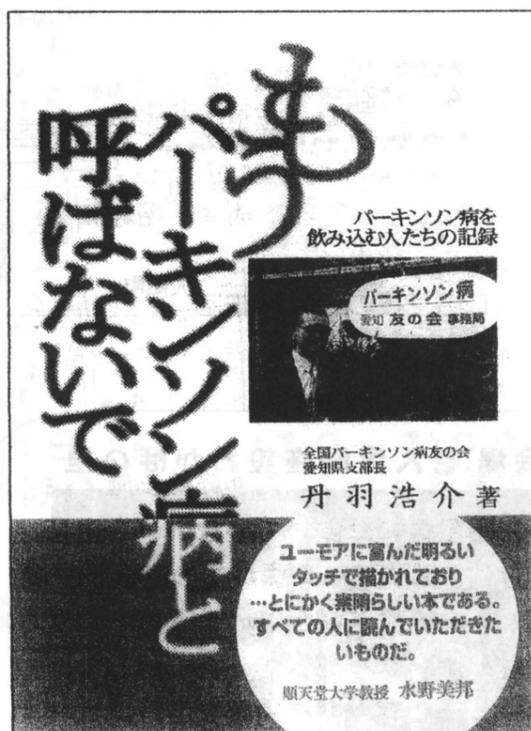
② 罹患して意気消沈している人に対しての励ましの言葉です。

4月9日、丹羽さんの一周忌を期に3刷を発行しました。一人でも多くの方に読んでいただきたくお薦めします。

申込先 愛知県支部 〒458-0847 名古屋市緑区浦里1-68-508

越澤 博 Tel050-3335-4970 口座番号 00830-2-50411

送料含む 1冊 1,200円



# 詩集・『今を精一杯生きていたい』 発刊のお知らせ

滋賀県パーキンソン病友の会 久保田容子著

若年性パーキンソン病である久保田容子さんが、11年に亘る闘病中の心の叫びを訴えられた壮絶な詩集です。会報46,48号で一部紹介させて頂きましたが、このたび全編を網羅した詩集として発刊の運びとなりました。

我々と同じ境遇の悩み・願い・体験・生活から生まれたこの詩集の叫びは、正に我々そのものです。購読ご希望の方は下記宛にお申込み下さい。



『今を精一杯生きていたい』

- ・著者 久保田容子
- ・発行者 瓜谷 綱延
- ・発行所 株式会社 文芸社(東京)
- ・定価 1,600円+送料160円

申込先

愛知県パーキンソン病友の会 越澤 博  
〒458-0847 名古屋市緑区浦里1-68-508  
Tel/Fax : 050-3335-4  
郵便口座振込 : 00830-2-50411

## 困りごと相談—17

49号 H22.2

全くの無気力で、動こうともしない。

最近は無気力が特に激しく、友人・隣人とも一切付き合おうとせず、自分から何か率先してやるということがありません。気力を出させる、よい手立てはないものでしょうか？

〈奥様より〉

この状態が5～6年続いています。発病前は自費で歌集を出版するなど、短歌を趣味としていました。現在もその整理・まとめを勧めるとパソコンに向かうこともあり、知的水準はそれほど低下しているとは思えません。私からみると単に無気力としか思えないのですが、パーキンソン病の治療面から、気力を出させる良い方法はないでしょうか？

〈Aさんの病歴〉

名古屋市在住のAさん 65才・男性 病歴17年 47才のとき（平成4年）にP病と診断された。5年後の平成9年に、淡蒼球破壊手術を実施したが、数ヶ月後には元に戻ってしまいました。その後は薬への依存が非常に高く、衣服のポケットには常に薬を入れ、毎日その残量を点検するという状態です。

現在は、無気力・右傾化・流涎が目立ち、特に自分から動こうとは全くしません。薬の効果のない午後からは、ほとんど椅子に座り居眠り状態です。

動かない理由としては

- ① 無気力から来るもの
- ② 薬を午前中に全て飲み干し、午後から翌朝の間は体が固まり動けない

ということが考えられます。家の中では、車椅子です。

現在の薬の処方は下記の通りですが。

午前6時	起床・朝食
6時半	マドパー 2錠
9時	コムタン 1錠、アーテン 1錠
10時半	マドパー 2錠

上記以外にプルセニド（便秘薬）、セルシン（精神安定剤）も服用しています。

以上

この問題は、以前非麦角の薬の中で記載しているので、今回はそれを転載させていただきます

## 〈困りごと相談—17・平山先生からの回答〉

パーキンソン病の治療をしていて困ることのひとつに、臨床症状としての運動能力に改善があるのに患者さんはちっともよくなりませんと訴えてくるということがあります。この現象は、パーキンソン病を見ている医師がうすうす感じていたのですが、少し前に患者さんの生活の満足度を測定して、運動症状と患者さんの満足度は必ずしも一致しないという報告がされ、やはりそうだったのかと思いました。つまり、医師から見ると結構スムーズに歩けているのに生活の質（QOL）の悪い方や車椅子生活なのにQOLを測るとそれほど悪くないということです。

では、何が一番QOLに関係していたかというところと鬱と関連が深いということでした。最近、パーキンソン病の運動症状以外に睡眠障害や自律神経障害などの非運動症状に注目されるようになって来ましたが、鬱のような精神症状も問題になってきました。ところが、パーキンソン病の患者さんが鬱病かというところ必ずしもそうではありません。SDSなどの自己診断する鬱病スケールでは確かに鬱病スケールが高いのですが、鬱病をたくさん見ている精神科の先生が見るとどうも30～40歳ぐらいで発症する鬱病とは違うということです。そこでもう一度鬱病のスケールを見るとその中に体が動かしにくいとか億劫になったなどの項目も入っているのでパーキンソン病の運動症状とかぶっているから間違えて鬱病と診断されてしまうのだらうということになりました。

ところが、精神科の先生から見るとどうもそれだけではない。一番違うのは鬱病には死の恐怖があり、重症になると自殺したくなるという症状が出やすいのに、パーキンソン病の患者さんには、それがあることは非常にまれだということです。そこで、この鬱病のスケールを高くしている原因はなんだろうと研究したところパーキンソン病の鬱症状の中心になっているのはアンヘドニアとアパシーではないかということが分かってきました。

アパシーという言葉は以前シュチュエントアパシーと言った学生が入学後に無気力になってしまうことで有名になった言葉ですが、いわゆる無気力、新しいことをや

ろうとしないということです。そして、アンヘドニアというのは、本来喜びや満足を感じられる行為から快感を感じられないこと、具体的には愉快的ことがなくなったとか人との付き合いがつまらないということです。パーキンソン病の患者さんが昔のことにとらわれてしまってなかなか新しいことにチャレンジできないのはこのためかもしれません。ドイツの試験ですが、657人のパーキンソン病の患者さんで、SPES (Short-Parkinson's-Evaluation-Scale) というパーキンソン病の評価や SHAPS (Snaith-Hamilton-Pleasure-Scale) というものでアンヘドニアを評価したところ、アンヘドニアはパーキンソン病患者さんで 45.7%あり、さらに鬱症状を認めた人では、79.7%にアンヘドニアを伴っていたそうです。

では、どうすればいいのか？実は、現在いろいろなところで研究中です。最近鬱病などの治療によく使われる SSRI という比較的パーキンソン病の症状を悪化させない新しい鬱病治療薬は有効であるかどうか、リハビリによる改善はあるだろうかとかいろいろ研究がされています。その中で、最近パーキンソン病の治療薬になっているプラミペキソール (ビ・シフロール) に効果がないだろうかということが話題になっています。

ビ・シフロールは、以前薬の話の中で非麦角系のアゴニストの話をしてきましたが、その書いた薬剤です。非麦角系の薬には、最近出たレキップという薬があり、これも以前薬に話の中に紹介しました。

では、ビ・シフロールの大きな特徴は何でしょう？ドーパミンアゴニストは、ドーパミンの受容体を直接刺激する薬ですが、こうした受容体にはサブタイプといって同じドーパミンの受容体といっても、作用が異なります。ドーパミンの受容体には大きく分けて D1 と D2 の受容体があり、さらに D2 の中で D2, D3, D4 というのがあるそうです。

最近、D3 の刺激が精神症状の改善に関係があるとする報告があります。ビ・シフロールという薬はどうもこの D3 への刺激が非常に強い薬だそうです。残念ながらその

せいか時に幻覚の副作用も出やすいのですが、逆に効果もあります。先程のドイツのアンヘドニアの報告でも SHAPS でアンヘドニアと診断された方が 45.7%あったのに、ビ・シフロールを飲むと 25.5%に統計学的に有意に低下しました。重症な鬱も 22.5%から 6.8%に減少したようです。もちろんパーキンソン病の治療薬ですから運動機能も改善しました。最初に話したように、パーキンソン病の患者さんは動きがよくなってもあまりその実感が湧かず、外出するのが億劫になったり、人と話すのが億劫となったりして社会生活からだんだん離れていってしまいがちです。

鬱病の薬を使わずにパーキンソン病の薬が運動症状と精神症状を改善してくれれば一石二鳥ですので一度試す価値にある薬だと考えています。ただし、問題は眠気です。しかし、眠いからといってすぐに止めないで2週間ぐらい飲んでみると慣れてくる方が多い印象があります。パーキンソン病の患者さんはどうも新しいことが嫌いで、薬の変更も嫌がる人がいますが、少し長い目で見て飲んでみてはいかがでしょうか。

また、リハビリテーションも重要です。我々が行っている音楽療法もこうした精神症状に一番効果があります。

## 笑顔で始まり、笑顔で終えた一泊旅行

尾張旭市 則竹 和子

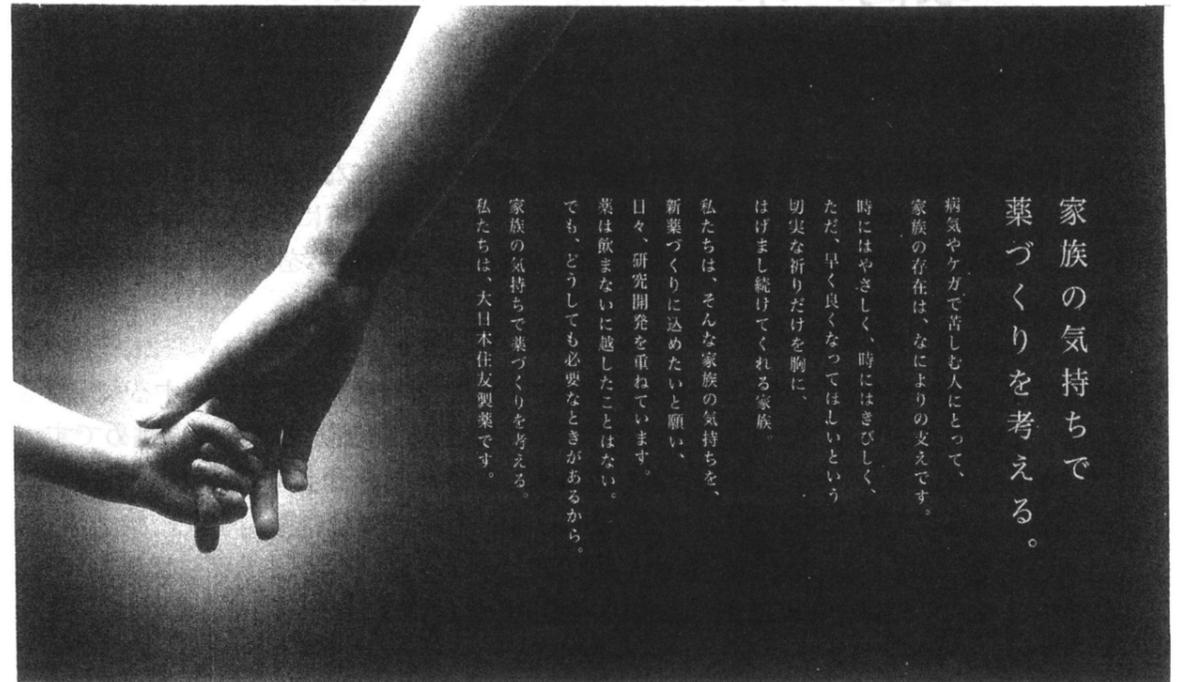
役員の皆様にはいつもお世話になり、ありがとうございます。ビラ・マリーン南知多に到着のとき、「お元気そうで」とか「お久しぶり」とか笑顔で迎えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

一昨年の一泊旅行では、雨上がりの虹に歓声をあげ、窓からの美しい眺めを満喫しました。今回はお天気もよく、だんだんと暮れ行く風景も又格別でした。食後のマジックショーはとても楽しかったです。じっとマジックを見ていると、コロコロと優しい笑い声にふと横を見ると山尾さんでした。そのお隣も、又お隣もみんなニコニコしています。ステキな笑顔です。手品を見ながら、みんなの笑顔を眺めずにはいられませんでした。楽しさが倍になりました。

帰りの特急電車では坐った場所に窓が無く、窓外の景色が見たいと主人を誘ったのですが、「いいよ、あとから行くから」というので前の方の空いた席に移りました。遅いなあと後を振り返ると夫の帽子が見えます。「まっ、いいか」と一人で坐って金山駅まで来たとき、階段の方へ歩いて行く夫の姿が目に入りました。思わず窓を叩いて、「お父さん！ お父さん！」と叫んだのですが、聞こえるわけもなく電車は発車。

名古屋駅に着いてすぐ、駅員さんに夫が金山で迷子になっているかもと連絡を取って貰いました。私は次から次へと入ってくる電車から降りて来る人の中に夫を探しましたが見つかりません。ふと改札口の方が確実だと階段を駆け登り改札口の方を見ると、なんと夫は私を探してウロウロしていました。思わず、思わず大声が出ていました。やっぱり私たちは二人合わせて半人前です。ヨン様より見慣れた夫が一番です。

ホッとしてゆっくりお茶をして帰りました。会えたから楽しい出来事になりました。又、皆様にお目にかかれる日を楽しみにしています。



家族の気持ちで  
薬づくりを考える。

病いやケガで苦しむ人にとって、  
家族の存在は、なによりの支えです。  
時にはやさしく、時にはきびしく、  
ただ、早く良くなってほしいという  
切実な祈りだけを胸に、  
はげまし続けてくれる家族。  
私たちは、そんな家族の気持ちを、  
新薬づくりに込めたいと願い、  
日々、研究開発を重ねています。  
薬は飲まないに越したことはない。  
でも、どうしても必要なときがあるから。  
家族の気持ちで薬づくりを考える。  
私たちは、大日本住友製薬です。

 大日本住友製薬

[www.ds-pharma.co.jp](http://www.ds-pharma.co.jp)



**gsk** GlaxoSmithKline  
生きる喜びを、もっと  
Do more, feel better, live longer

グラクソ・スミスクラインは、研究に基盤を置く世界をリードする製薬企業です。抗うつ剤、喘息治療剤、抗ヘルペス剤、片頭痛治療剤、アレルギー性鼻炎治療剤、消化性潰瘍剤などの革新的な医療用医薬品や「コンタック」「アクアフレッシュ」「ポリデント」などのコンシューマーヘルスケア製品を通じて、人々がより充実して心身ともに健康で長生きできるよう、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。

グラクソ・スミスクライン株式会社  
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル  
<http://glaxosmithkline.co.jp>

# 最高に楽しかった一泊旅行！

緑区 池田幸夫

49号がお手元に届くのは2月初めなので話としては一寸遅めになりますが、平成21年度の一泊旅行は、4年連続の「ビラ・マリーン南知多」でした。車椅子にも対応できるという「かんぼの宿・老人福祉館」です。使い易く、ホテルもそれなりの対応をしてくれます。総勢40名が参加しました。

知多半島最先端の師崎は浅間山に建ち、部屋からは日間賀島・神島等を擁する太平洋を一望できるという100万ドルの景観を持つホテルで、何度来ても飽きる事の無い眺めです。部屋で暫し景観に酔った後は、漁港に恥じぬ海鮮に恵まれた夕食会です。

「1年ぶりですね、お変わりございませんか？」

「今年も元気でお会い出来ましたね」

「初めて参加しましたが、いろいろお話が聞けて元気が出てきます」

「私は……の症状で悩んでいます、あなたは？」

「夕食の後の〇〇〇と□□□が楽しみですね」

などなどの会話で話が弾みます。毎回参加される方や初めて参加されるご夫妻達も、アルコールが入る前から話しに花が咲いて盛り上がっていきます。

やはり、遠慮のいらぬ者同士という親近感がなせるものなのではないでしょうか？ 加えて「平山先生と看護師でもある平山夫人」が同席されておられるという安心感から、何等の心配することも無く話は弾み、食も進みます。

夕食の後は懇談会です。3階の大広間に場所を代え、日本B社の山田和宏さんが今回は飛び入りで「マジックショー」をしてくださることになりました。皆さんが前々から期待して、待ちに待っていたものです。

正直、驚きました！ 私もトランプを1枚ずつ落下させながらストップを言わせて、その時の数字とスーツを当てるというド素人芸をします。が、山田さんのはレベルと次元が全く違う素晴らしい芸でした。息つく間もなく、芸は進んでいきます。

本当に驚きました。一芸に秀でるといふ事はこの事を言うのですね！ 10数年のキャリアとの事ですが、まさに奇術師です。その芸の一部を紹介させて頂きますと；

- 1、直径3cm×長さ60cm程度の長〜い風船を飲んでいくんです、破裂する事なしに。さも苦しうに、休み休みズンズンと飲みこんでいきました。腸は長いので大丈夫ですと言っておられました、皆は寝てる時に体内でパンクしたらどうしよう？ とか、明日は便秘になるかもしれない？ などと心配していました。

2、缶コーラの栓を空けてゴクゴク飲み干しました。そしてその空き缶をグシャッと潰したかとおもうと、マジナイをかけていました。すると潰れた缶が元どりにムクムクと戻るのです。更にマジナイをかけると、開いた飲み口が塞がれて元に戻っているのです。しかも中にはコーラが入っているんです。後でそのコーラを飲ませて貰いましたが、本物でした。

3、トランプの1枚に、会員に何か一言書いてもらいます。そしてシャッフルしている間に、そのカードがいつの間にかお茶のペットボトルの中へ移動しているというもの。筆跡は全く同じで、未だ開いていないお茶の中です。これにも、皆は感嘆の声です。

1時間近くに亘って数々の芸を披露して頂きました。前述の3件はそのうちの一部分です。手に汗握るという緊迫感と予想をはるかに超える驚きの結果は、とてもアマチュアと思えるものでは有りませんし、この瞬間の驚きの感覚が必ずやドーパミンの分泌を促してくれるものと思います。

平山先生は、しきりに種の解明に努めておられました、これは職業病ですね。知らぬことは絶対に真実を突き止めなければ我慢出来ないという性格であり、また職業病なのでしょう。もっともこれがあるからこそ、我々の病気の治療も出来るのだと納得できました。

楽しいマジックショーが終ると、恒例の「平山先生を囲む懇談会」です。医療講演ではなく、先生を囲んで、日頃の悩みや対症法を教えていただくというものです。

冒頭に平山先生から、下記のお話があつて約1時間の質疑に入りました。

- ・ こういう会に出向いて出席する事が一番の治療法になるということ
- ・ 頻尿・寝言・便秘・睡眠等の非運動症状がパーキンソン病に与える影響は大きいある調査で、便秘し易い人のパーキンソン病罹患率はそうでない人の4倍という結果もあるそうです。

質問の内容は

足のむずむず感	腰曲がり症(48号参照)	便秘の定義と対策
眠気を覚ます薬の有無	コムタンでジスキネジア誘発、首の痛み併発	
受診する科で診断が異なること	パーキンソン病発症のメカニズム	

等々の10数件の質問に答えていただく間に、時間はあつという間に過ぎていきました。

翌朝は、一同揃つての朝食です。昨夜の話で盛り上がり、今日はどうするとかでまたまた話が弾みます。魚市場に行く者、近隣の観光に赴く者、帰る人達と様々ですが、またお会いしましょうという挨拶と共に今年は例年以上にさわやかな気持ちで帰路に着く事が出来ました。最高の一泊旅行でした。一泊2日の束の間の時ですが、明日からの闘いに大きな力を貰うことが出来ました。

企画実行された幹事の方に、お礼申し上げます。来年も宜しくお願いします。

## ビラ・マリーン南知多、一泊旅行に参加して

南区 山田 良知

11月28日(土)

今日の天気は薄曇り、名鉄を乗り継いで一路河和駅に向かう。P病友の会のメンバーの人々も参集している。

ホテルの入り口で今回参加の人々と挨拶を交わし、それぞれの部屋に落ち着く。夕食まで、遊々ゾーン(温水プールのようなもの、水着必携)で楽しむ。

夕食は和食で、一同乾杯しつつ話が進んで行く。一テーブル4名。8時から9時10分までは、階を代えてお楽しみのマジシャン(山田 和宏氏)の絶妙な手捌きによる奇術の数々。

その後は医療懇談会の講師として、名大病院の平山正昭氏によるP病の様々な質問について、ホワイトボードに図示しながら分かり易い説明で解説をされました。薬の名前と効き方などについて。

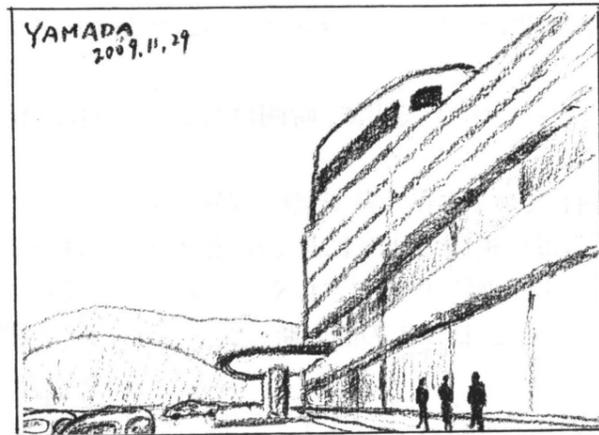
11月29日(日)

朝食は4名一テーブル、和食です。今回の参加人員は40名。

今回のように泊りを伴う会は、お一人お一人を深く知り得る事が出来てとても貴重なものでした。また、車椅子の方の参加や杖をついての参加者が多かったことも付け加えておきます。

いつも言われていることですが、このような会に出てこられることがリハビリになります。

一泊旅行は5年目になるようです。ビラ・マリーンを利用しだして4年目だそうです。会の運営やとりまとめをしてくれた幹事の方々、大変ご苦労様でした。



H21.11.29 「ビラ・マリーン南知多」を描く



新薬で人々のいのちと健康に貢献します。

どこかで病気と闘っている患者さんのために。

健やかな明日を願うすべての人のために。

ノバルティス ファーマは革新的な医薬品を提供し続けます。

ひとつひとつの輝きのちを見つめながら。

 NOVARTIS

ノバルティス ファーマ株式会社

〒106-8618 東京都港区西麻布4丁目17番30号  
<http://www.novartis.co.jp/>

 Medtronic

## 明日の笑顔を

パーキンソン病などの

不随意運動と闘う

多くの患者さまに

「明日の笑顔」

を取り戻していただきたい。

それが私たち

メドトロニックの願いです。

日本メドトロニック株式会社

<http://www.medtronic.co.jp>



感動、感動の「新春コンサート」を紹介します；

## 音楽療法に参加してみませんか？

事務局

名大・平山先生と中部学院大学・鶴飼先生&鈴木先生のご指導で音楽療法が毎月1回開催されています。会場は名大病院・広場ナディックで、パーキンソン病症状の一つである構音障害の克服などを目的にしています。

平成20年からスタートし、1昨年は集大成として「Xマス・コンサート」を開催。昨年は「新春コンサート」を企画して下さいました。

始まってすぐに感じたことが、「今回は声が大きく、張りのある声量で歌っていた」という実感でした。自分の演奏ミスを帳消しにしてくれる程のインパクトでした。初参加のTさんは「熱唱中に涙が出てきた」と感動され、Iさんも「歌う途中で胸がグッと詰まり、ウルウルになった」とまさに感動、感動、感動のコンサートでした。

一昨年はアンサンブル・クリザンテム、名大医学部学生さんとの共演。今回は中部学院大学・短期大学部ハンドベルクワイヤとの共演で、格調高いコンサートを経験させて頂いています。

1年間練習してきた成果を、身を持って体感できるのがこの「音楽療法」だと思います。それに1年間練習を継続するという事で、日常の生活に目的と張りが生まれることがたまらない魅力です。

皆様も挙って参加してみませんか？ 会報毎号に鶴飼先生からの案内が載っていますので、皆様のお申込みをお待ちしています。

コンサートのプログラムと平山先生・鶴飼先生のご挨拶を掲載しますので、ご覧いただき今後の参考の一助になればと思います。



「新春コンサート」の様子を伝える中日新聞（1月19日付け・市民版）

# パーキンソン病患者さんと 中部学院大学・中部学院大学短期大学部 ハンドベルクワイヤ新春コンサート



とき：平成22年1月15日(金)

午後3時～午後4時

会場：名大付属病院

中央診療棟2回りハビリ広場

### <プログラム>

#### 1、愛知県パーキンソン病友の会会員と家族のみなさん

「ビリーフ」 「1月1日」 「ペチカ」 「雪の降る街を」

#### 2、中部学院大学・中部学院大学短期大学部ハンドベルクワイヤのみなさん

「ドレミの歌」 「ザ・シンコペット・クロック」 「海に見える街」  
「Prayer」 「崖の上のポニョ」

#### 3、みなさんと一緒に（聴講のお客さんも一緒に）

「幸せワルツ-ATMの歌」 ～星影のワルツ」の替え歌です

愛知県パーキンソン病友の会の皆様は、当院で月1回開催している音楽療法に参加されていますが、日頃の成果を発表します。

中部学院大学・中部学院大学短期大学部ハンドベルクワイヤのみなさんは、学生サークルとして活動されており、学内はもとより老人ホーム、病院等で多数のコンサートを開催されています。

「新春コンサート」の開会にあたり

## ご挨拶

名古屋大学 医学部神経内科  
平山正昭

2010年が始まりました。ここ数年は医療崩壊という言葉がニュースになり、医療にとって激動の年が続きます。この中でともすれば忘れがちになる患者さんとの交流を兼ねて、愛知県パーキンソン病友の会を中心とした皆さんと音楽療法の先生とで月に1回の音楽療法を行ってきました。

今年は早いもので開始して3年目となります。幸いな事に参加者も定着してきており、患者さんにとっても定期的な活動の一つになりました。

一昨年のクリスマスコンサートに引き続き、今回も患者さんの演奏による新春コンサートを聴かせて頂きます。この院内でのコンサートは音楽療法に目標を持つという事で、患者さんも積極的に参加することに賛同されており、半年前から音楽療法の時間に練習してきました。動かし難い体に鞭打って練習しましたので、決してプロの様にはまいりませんが、あたたかくお聴き下さい。

また鶴飼先生の勤務先である中部学院大学・中部学院大学短期大学部ハンドベルクワイヤの皆さんにも、コンサートに賛同し演奏していただけることになりました。ありがとうございます。太古より、音楽には治癒効果があるとされています。どうか、心地よい時間をご共有下さい。

中部学院大学 音楽療法コース  
鶴飼久美子

本日は「名大病院 新春コンサート」において下さいまして、本当にありがとうございました。コンサート前半に演奏致しますのは、一昨年2月より院内の“ナデイック”で行って来ました音楽療法に参加されていますパーキンソン病の患者さんとその家族です。

皆さんは“全国パーキンソン病友の会”会員の方々であり、名古屋市内のみならず遠方からも毎回体調と相談しながら、月1回の音楽療法に参加しておられます。

音楽療法の場に定期的集まることで、会員同士の交流も深まりつつあります。

また音楽そのものの快い刺激が、心身への良い影響となっているのではないかと思います。さらにこうした場での情報交換や互いの励まし合いなどは、皆さんが日常生活を積極的に生きることに繋がるのではないかと考えています。

今日はこのコンサートの趣旨に快く賛同して頂きました“中部学院大学・中部学院大学短期大学部ハンドベルクワイヤ”の指導者である岡田泰子先生と安田万里子先生そして学生の皆さんが、岐阜県関市から駆けつけて下さいました。心より感謝したいと思います。

本日、会場に足をお運びいただいた皆様方、またコンサートで演奏された患者さんの皆様が快い思いを感じて頂けたら嬉しく思います。

最後になりましたが、今日のコンサートを支えて頂きました名大病院の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

## 服部神経内科 本町クリニック

〒460-0008 名古屋市中区栄 3丁目 20-29

院長 服部達哉 副院長 服部優子

診療時間

時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30 ~ 12:30		○	○	○	△	○	○	△
午後 3:00 ~ 6:30		○	○	○	△	○	△	△

この他に祭日は休診とします

電話 052-249-0101

www.1tsubu.com

一粒社 検索

**自費出版**

**本** 100年残る  
を作りにませんか

貴方の本、20冊15万円から作れます  
経験豊富なNPO法人日本自費出版ネットワーク公認  
アドバイザーが親切丁寧に手引しながら制作します。

今なら無料で自費出版マニュアルを差し上げます。  
くわしくはお電話かホームページをご覧ください。

有限会社 一粒社 出版部  
ICHIRYUSHA

〒475-0837 半田市有楽町7-148-1 FAX0569-22-3744  
TEL0569-21-2130

## ねこ物語 ー (4)

(番外編)

蒲郡市 峯 海遥

ねこ物語は三シリーズを作り、一部の方にご覧頂きながら書き溜めておりましたが、色々な方からねこにまつわる面白い話を幾つかお寄せいただいたので、私の話の他にもねこに関する記憶ともどもご紹介したいと思います。

私の親友、平田超人さんのご友人である井上さんからお聞きした話。

ねこは異常に細やかな神経を持っていて、ある日飼い主のお母さんが不用意にもねこに気づかず尻尾を思いっきり踏んづけてしまった、ねこは「ギャオー」と鳴き、飛び上がった。それ以来、そのねこはお母さんの足音が聞こえるとすぐに逃げ出すようになった。

しかし、その様子を見ていると結構面白い事が同時に判ってきた。まず、災難直後は母が部屋に入って来るなり、すぐ外へ飛び出した。二回目は同じ部屋にいても、一番遠い場所から注意深く母の様子を伺っていた。

その後は、母の通らない場所を選んで普段と変わらない様子で坐っていた。

そして、最後の最後はなんと母の足元にいながら、母が通るであろう場所から、さり気無く尻尾を外し、母が通り過ぎた後は元に戻すも、目を瞑ったままそれをするという神業をやったのけるのであった。

私も思わず、「すごい!」と言ってねこの頭を撫でたら、可愛い声で「ニャ〜オ」と鳴きながら、手に尻尾を巻きつけてきた。



## ねこ物語 ー (5)

(クレオパトラ猫)

ねこは人懐っこく忠実な犬と違って、気高く孤高な性格を持っていると言われている。だから、犬がさかんに尻尾を振って飼い主に纏わり付きながら甘えるのに対して、ねこは飼い主を無視するようなツンとすまし顔をしながら、まるでクレオパトラのごとく振舞っている。

私が二十歳前後で兵庫県西宮市の阪急沿線に住んでいた頃、やはり一匹の猫を飼っていた。そのねこは面白い習性を持っており、何故かテレビの上にひょいと飛び乗って、その上でいつも休んでいた。

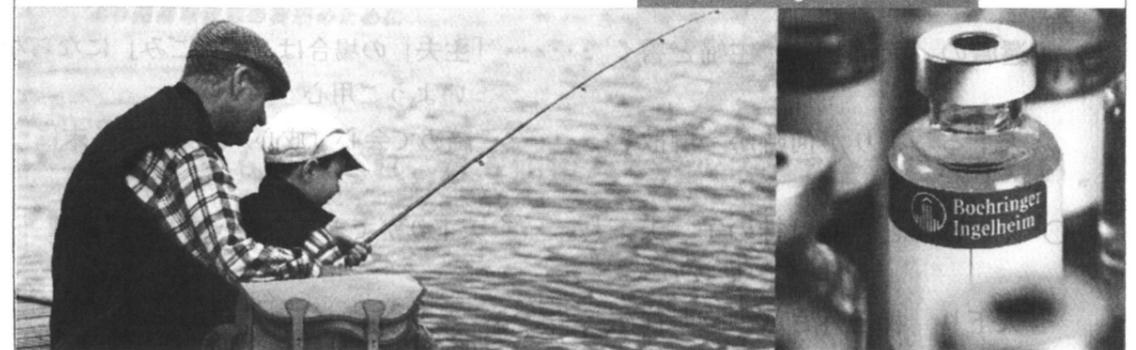
あるときは丸まって寝ていて、あるときはスフィンクスのごとく座り、テレビを観ている私たちを見下ろしていた。その時の顔が何かうっとりとしていた。

ある時、その顔を見てハッと気が付いた。家族全員がテレビを観ていたにも拘らず、家族全員が自分を見つめ注目しているのだと勘違いしているのではないかと気が付いた。

「コイツめ!」とコツンと軽く頭を叩いて、テレビの上から下ろすと普通の顔になり、「ニャ〜オ」と鳴きながら私の足元に絡みつき、甘えてきた。

### 健やかな関係、ずっとあなたと。

Value through Innovation



私たちは画期的な新薬の開発に挑むグローバルな製薬企業グループの一員です。私たちは薬を通して、人と地域と世界と、健やかな関係を築いていきます。

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社  
<http://www.boehringer-ingelheim.co.jp/>

本社/〒141-8017 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower

Boehringer  
Ingelheim

# ぷらな川柳会

平成22年を迎え、「門松や 冥土の旅の一里塚 めでたくもあり めでたくもなし」昔からへそ曲がりはいるもので、人がめでたいと言えばトンでもハッピーとばかりに縁起でもないことを口走る。案外、川柳などを趣味にされる方は、皆共通の性癖をお持ちのようで、世間に背をむけておいでになる。あるいは、例えば宏一・ザ・ワールドみたいな独自世界からの発言をついついやってしまう。

いわば一言居士としての存在を主張されるわけで、今の世の中、それはそれでなかなか貴重な存在だと言えなくもありません。

自画自賛はこの程度にしておきまして、今月のテーマは「癒し」と「天下り」。さて、どのような結果と相成りましたでしょうか？

守山区 松本 宏一

## 第3回ぷらな川柳会提出作品

### 〈演題—1：天下り〉

天下り 渡り歩いて 長者様 …… いわゆる「わたり」の実態というものは相当なものらしい

○ 天下り 金と肩書きの 揃い踏み …… 逆に言えば金と肩書きに手厚く保護されているからこそ問題

還暦の 天下り先 主婦と書く …… 「主夫」の場合は「粗大ごみ」にならないようご用心

天下る 積りが何時か 解散し …… 諦めて会心（戒心）起案の行く末に

○ えっほんと 俺は神の子 天下り …… 天下りができるのも一種の選民意識

天下り 梯子外され 立ち往生

### 〈演題—2：癒し〉

○ 八十路生き「ぷらな会誌」に癒される …… 上の句が生きている

○ 癒しとは 卑しい心で 待ち望み

☆ 電車内 席ゆずる声 ひと癒す …… 日常の1コマ。ナニゲない雰囲気をよくキャッチしておられる

○ よくもまあ こんなにないの 癒し記事 …… 殺伐としたこの世のありさまに食傷気味の我ら困民党

### 〈演題—3：自由題〉

○ 長き夜は 一人指折り 五、七、五で …… なにより作者の人生に向き合う姿勢がしのばれる

天高く 犬肥えゆきぬ 陽溜りの庭

☆は秀逸、○は佳作

## 第5回「ぷらな川柳会」のお知らせ

- ・原稿締め切りは、3月28日（日）
- ・テーマは、「自由題」として投句をお待ちしています

皆様のご健康と good luck を心からお祈り申し上げます

**Pfizer**

**Working together for a healthier world™**

より健康な世界の実現のために

日本で最も信頼され、最も価値あるヘルスケア企業になりたい。

ファイザーは「新薬」に世界最大の研究開発費を投じています。  
高血圧症、がん等、多くの病気、そして、治療薬に恵まれない病に打ち勝つためには「新しい薬」が必要だからです。  
\*世界企業のR&D投資額ランキング(2008年 欧州委員会まとめ)

ファイザー株式会社 [www.pfizer.co.jp](http://www.pfizer.co.jp)

## [感謝]

安城市 篤永 章子

今日は格別寒い一日でした。過去の穏やかな進行が幸いに思えました。病気の認識は心得ていても、急な体調の変化を察しますと平常心を失いませんか？

病歴を省みず私がそうでした……………。

重みを増した病状は昨年秋あたりから始まりました。単に悪化と片付けますが、加齢も原因の一つに考えられますね。

それまで多少は普通に歩けていたのです。それが知らぬ間に伝い歩きに変わりました。その上、突進症状も突発的に発生します。更に姿勢維持もバランスが悪く、当然のように転んでしまいます。昨日もベランダで転びました。

最後に、薬が切れると耐え難い疼痛に襲われ、体の置き場がありません。禁断症状が大変苦痛な上頻繁に起きますので、苦痛以外の何者でもありません。

取り分け、今抱えている気になる症状を書かせていただきました。上記から不自由な暮らしが一目瞭然ですが、ヘルパーさんは週に3回朝夕の訪問に抑えています。

訪問日以外は私のリハビリと考え、動かない体に鞭打って家事等行います。この体で、母の介護を尽くすのですから、それはもう大変な一日になります。

母の認知も進んでいるようです。独り言・被害妄想が強く、正直一日中の母の相手は出来ません。

家事等時々妹が手伝いに来てくれ、弟は相談等、病院への送迎もしてくれます。本当に大助かりしています。

弟は毎日家に立ち寄り、食事等の差し入れなどの気遣いを忘れません。母と私の世話をする弟や妹に、心底感謝の念が湧きます、ありがとう。

編集部より

篤永章子さんは病気との闘いの中に、いつも寄稿して下さいます。カラオケ、作文などで苦しみを和らげ、その間にお母さんのお世話をしておられます。

優しい弟さん、妹さんもお二人へ物心両面から援助の手を差し延べておられる事が大きな救いです。これからも病気に負けることなく、お元気でお願いしますようお祈りしています。

パーキンソン病や脳梗塞後遺症で運動機能障害や歩行困難と  
なられた方のご自宅を訪問し、機能訓練マッサージを行います

### 訪問リハビリマッサージ

医師の同意書により健康保険を適用

お気軽にご相談ください

鍼灸マッサージ師・ケアマネージャー 松本 八重子

・〒463-0814 名古屋市守山区桔梗平二丁目 203 番地

・Tel/Fax 052 (710) 1121

・携帯 090-9934-8988



東海市の

### 「福山接骨院」

をご案内します

\*診療科目

…機能回復訓練全般

\*診療時間

午前 8:30~12:00

午後 3:30~ 8:00

休診日 : 日・祝日

(但し、急患は受付)

\*保険適用 … 健康保険 労災保険 自賠責(事故)等該当します

\*有資格 …… 機能訓練指導員認定資格あり。

\*所在地 …… 〒477-0034 東海市養父町2-36 (尾張横須賀駅東)

TEL : 0562-32-2332

## ♪ カラオケに誘われて ♪

名東区 伊藤つぐみ

私は、P 病歴 12 年で診断から丁度 10 年目になりますが、まだまだ他にいっぱい病気があります。毎日、一日のうちに元気に動けて身も心も軽やかになる時間が一体どの位あるのかしらと何時も考えておりました。

そして、手根管症候群にも腱鞘炎にもなっていました。治療はしていても一向に良くなり泣きたいくらいでしたが、如何することもできずその日その日が静かに過ぎ去ってくれることをただ願っていました。最近進行も日に日に進み具合が分るようになってきて、怖くて中々外出もままなりません。もう毎日が気の晴れる時がありません。その上 P 病も 10 年以上もすると、否応無しに色々な症状が出て来ています。

そんな年末のある日に、久しぶりに同病のお友達から「最近どうですか?」と嬉しい電話がありました。「元気でやっていますよ」とは到底言えそうにもありません。丁度薬切れで声もかすれて蚊の鳴くような声しか出ていなかったようです。その方は若年性発症で私より少しお若いのですが、もう 20 年以上の病歴です。でも凄くお元気で、今でも車を運転していて行動的です。

私に「声が小さいけれど、どうしたの?」と聞かれますので色々お話をしました。「そして私のお友達で脊椎が悪い人がいるけれど・・・同じような状況ね」とそれで電話は切れました。しかし翌日になってからその電話の主のお友達の方からも、「お友達から伊藤さんの事を聞いて私とよく似ているんだなあと思ったら、心配で電話掛けてしまったわ」とまたまた嬉しい便りがありました。私はこんな素敵な知り合いがいて本当に幸せ者なんだとつくづく感じました。

その方も若年性発症で数年前にお会いした事もあります。それが元気な大きい声で笑顔も見えてきそうです。余りにも元気ハツラツなので、何故そうなれるのか聞いてみました。そして「もう一人加わり 3 人でカラオケを時々している」と言われ、今度は私も早速誘われました。大声出して心のもやもやを吹き飛ばすように、お腹の底から発散するように大声を出すのだそうです。私に音楽聞いているだけでは駄目で、歌謡曲なら何時でも歌えるから一日中 CD を掛けっぱなしにしておくことなど、色々細かい配慮までも教えて下さいました。

当日はお天気もよく、主人も仕事を休んで片道 1 時間くらい掛かりましたが、皆さんが明るく元気に過ごせるコツでも聞きたくて出掛けました。

でも話が聞きたくても、大声で話されるのですがカラオケと混じって何を話されているのか分からないくらい熱狂しているのです。私もこんなに熱狂することがあったなら、どんな悩みも一時的にでも忘れることが出来るのにとつくづく思いました。

私も下手で恥ずかしいとか言っていられない程はやしたてられて、大声で歌ってしまいました。音程なんて合っていたか、いなかったのか訳の分らないうちに何曲も歌ってしまいました。「結構大きな声が出るじゃないの!!」とはやし立てられ気分は上々でした。それで聞きたい事が最後になってしまいました。皆さんに会いに来ただけの甲斐は充分ありました。

治療をする上でどうしても納得できないとか、先生と意見が食い違った時は言わずじまいでは絶対駄目。薬が段々多くなってしまっていて、P 病の薬の効果が薄れてしまうとされました。P 病以外の薬は吞まないようにしているとのこと。今は情報社会だからネットで薬の事をもっと勉強しなくっちゃ。今吞んでいる薬同士の相性とか、自分に適量なのかとか、自分にとって良いのか悪いのか自分で調べなくてはと。アップルに投稿しなくても見るだけでもプラスになりますよと、私には手厳しく耳の痛いことばかりでした。

彼女が情報を集め、身体に良いと言われれば全てしてきたと言われた顔には、今までして来た事が間違い無かったという充実感と自信に満ち溢れていました。毎日犬の散歩もしてられるとの事。何でも続けることが大切ですね。彼女の努力と強い精神力が、病歴 20 年以上経っても元気に過ごせていられるのだという事がよく分かりました。

三日坊主の私には、彼女が凄く立派で輝いて見えました。そういう力強い方に、心置きなくカラオケに誘って下さって有り難く思っています。そしてまたカラオケの大好きな方は、また来ましようねと言って下さいました。またお会い出来ることを信じて、今日も CD から流れる曲は懐メロの歌謡曲ばかりです。

庭に出て 一人静かに懐メロと 今日一日が終れば良しと

# 遠く高知から『友の会の歌 ATM』のたより

2008年末に、電話がかかってきました。受話器をとると、「私は高知県の山中史枝と申します。会報41号に掲載された今枝清美さんの詩『友の会の歌』に感動しました。是非、曲付けして歌って見たいのですが、宜しいでしょうか？」と申されます。  
早速今枝さんと連絡を取って頂き、快諾を得られて「友の会の歌 ATM」が生まれました。下記のお手紙に楽譜を添えて送られてきましたので紹介させていただきます。 事務局

拝啓 愛知県会員の皆様、初春をお迎えになり今年もよろしく申し上げます。私もパーキンソンとのおつきあい、心新たに笑顔でスタートした次第です。いつも愛知県の会報に支えられています。私にとって貴様の一冊の会報は、何よりの新薬をいただいて元気もらっています。このように前向きに病気と共に明るく楽しい生活、笑いの多い日々を送る事が出来る喜びにありがたく感謝しています。

遠くはなれていてもこのように手をつなぐことができましたことが嬉しく、そしてこの度今枝さんの詩「友の会の歌 ATM」の曲が皆さんのお力をかりて出来上がりました。早々に御報告しなければと思いながら、遅くなりまして申し訳ありません。さっそく楽譜を送らせて頂きますので、皆さんで歌ってみて下さい。この様に皆さんと歌うことの喜び、宝物となります。ありがたく感謝の気持ちで一杯です。

そして愛知県支部の活動内容の素晴らしさ、いつも感動します。私達支部に伝えていきたい、楽しく集まってくれる友の会にするには ……………? もっともっと見習っていきたい。ATMで過ごし、いつも「希望と勇気」をいただきます。これからもおつきあいよろしく願い致します。 かしこ

高知県高岡郡日高村 山中 史枝

**友の会の歌 「ATM」**

作詞 今枝清美  
作曲 浜田善久

<p>注 二番の歌詞は、会報四一号を参照下さい。</p>	<p>友の会の ATMで 合いことば</p>	<p>飲んでる薬に 願いをたくし</p>	<p>元気な声を 届けます</p>
<p>外での景色を 満喫しよう</p>	<p>今日という日を 大切に</p>	<p>動けるように 転ばぬように</p>	<p>あなたの笑顔が みたいから</p>
<p>散歩は毎日</p>	<p>明るく 楽しい 毎日</p>	<p>散歩は毎日</p>	<p>不安だなんて 言わないで</p>
<p>散歩は毎日</p>	<p>今日という日を 大切に</p>	<p>散歩は毎日</p>	<p>お互い手を取り 生きていこう</p>

# 友の会の歌ATM

作詞 今枝 清美  
作曲 浜田 善久

げん き な こ え を と  
ど け ま す あ な た の え が お が  
み た い か ら ふ あ ん だ な ん て  
い わ な い で お た が い て を と  
り い き て い こ う の ん  
で る く す り に ね が い を た く し  
う ご け る よ う に こ ろ  
ば ぬ よ う に さ ん ぽ は ま い に  
ち こ こ ろ が け て そ と  
で の け し き を ま ん き つ し よ う  
と も の か い の あ い こ と ば  
エー ティー エム で す ご そ う よ あ か る く た の し  
い ま い に ち を き ょ う と い う ひ を  
た い せ つ に

# 一所懸命と一生懸命

緑区 池田 富美子

最近、人の名前など物忘れが多くなってきた反面、昔の事は良く憶えていて、これもまた歳のせいかなと思っています。もう50年以上前の事です、中学生だった頃、東京の学会に出席された国語の先生から「一生懸命という言葉は、意味合いから言ってゆくゆくは一所懸命に変化します」と聞いた記憶があります。たしかに一生の間頑張ると言うのは少し大袈裟で、その時その時を頑張るのが妥当なのかなと納得しました。半世紀経った今、時代はめまぐるしく変わり、なおさら一所懸命の方がしっくりするような気がしています。

けれども、今頃になってふと気になり、インターネットで調べてみると、「一生懸命」と「一所懸命」、もともとあったのは「一所懸命」の方で、その昔元寇が攻めて来た時に九州を守ったことや、鎌倉時代、武士が賜った一カ所の領地を命がけで守り、それを生活のたよりとして生きたことに由来していて、一箇所を懸命に守る→「一所懸命」になった。それが「一生懸命」になり、生きている間、命がけ・・・

{「一所懸命」から出た語} 命がけで物事をする事、全力をあげて何かをするさまで、副詞的にも用い、NHKの解説では、一所懸命の方が古いけれど、今では一生懸命の方が一般的で、放送でも一生懸命を使っていると言うことです。このような事を今初めて知り、びっくりしました。

中学生時代、私は、「一所懸命」の方が、もともとあった語だという事を知らないで、時代を反映して新しく考えられた語と思っていました。それで、もしかしたら間違った解釈をしていたのかも知れません。いずれにしても、このせわしない世の中で「一生懸命」の語が使われていることにホッとしています。「質より量」とスピードを要求される事の多い昨今、何となくそぐわないこのような語が、まだ認められていることに嬉しさを感じました。

ある日、喫茶店でのお話の中で、Aさんが、「出掛ける時、すべての準備を終えて出発までの間、コーヒーで一服するのが、至福のひとつ」と言われた言葉がとても印象的でした。お忙しい毎日、上手に時間配分して、介護、家事等それぞれ一所懸命にこなされ、ユーモアを忘れずに、多彩な趣味を楽しまながら他の方への心配りまで今の時代をしっかりと生きておられる気がします。一生懸命頑張ってはみるものの、間に合わない事が多い私には羨ましい限りですが無いものねだりをしては仕方ありません。出来る範囲で自分らしく生きて行けたらと思います。そんな私に神様が、あせらずに暮らせるようにと、パーキンソン病という免罪符を下さったものと自分に都合よく受け取っています。余生をゆったり過ごせたら言う事はありません。

A あなたの  
T たより(投稿)を  
M まっています

## 賀状いただきました 越澤 博

○ 丑年に生まれ、七回目の丑年を無事に越しました。けれども一人歩きでなく、皆様に支えられての、今日の私です。誠にありがたいことです。感謝申し上げます。ますます難しい世の中で、安心できる老後生活ではありません。憲法九条を生かした、世界平和であり続けるために、ささやかながら頑張ります。新宮市 惣坊 君代

○ 今年の総選挙で「政権交代」が実現しました。初めて政権を獲得した鳩山内閣ですが、右顧左眄キョロキョロするばかり。こんなことでは国民から見放されるだろう。こんなことでは難病対策も不安を感じます。私たちは足並み揃えて進みましょう。新潟パーキンソン病友の会

○ 初夢に少し吾似のややと逢ふ 鎌ヶ谷市 寺島 ただし

○ 兎に角に風邪引かぬよう祈ります 緑区 金井 牛歩

○ 帰老喜寿棄老の風吹く老いの春 西区 服部 良男

○ 新春対談 妻 「私と歩いている時ぐらい、若い女の子をジロジロ見ないこと！」  
夫 「芸術的審美眼の涵養だよ」  
妻 「難しいこと言って」  
夫 「でも、君が一番だよ」  
妻 「まあまあ、見え透いたお世辞だこと」 京都市 山田 順三

○ 寅どしの弥生に生まれし長の子の白髪をみる歳となりたり  
単身の赴任決めたる次子と飲む夫の顔を思ひくたされ  
すこやかにふたり子育て娘にて恃みとすること多きこの頃 神戸市 浮田 伸子

○ 軽やかにスキップなどして道行かば夢の終りは白みゆく朝 瑞穂区 太田 浩子

### 自句自解

越澤 博

梅二月池に光の増して来し  
 丸木橋渡りてよりの野梅かな  
 枝触るるほどの樹間や梅林  
 梅林となりし城址の広さかな  
 谷川に沿ひ梅林の展けをり  
 茶屋ひとつ無き梅里でありにけり  
 梅が香や宿の女将の薄化粧  
 紅梅や久米仙人の寺を訪ふ

**梅** (うめ) 清楚で気品高く、早春に咲く。葉に先だつて咲き、普通白色五弁であるが、紅色、淡紅色の花もある。八重咲きもある。鉢植えのものを盆梅、枝垂れのを枝垂梅という。近くでは、月ヶ瀬が有名であるが、名古屋城、岐阜、佐布里なども知られている。

俳句は物を見て詠むものである。今回は俳句を作り始めたころの作です。梅は春を告げる花であり、春といえ、ものときめく明るいひびきがあり、まず、光に強さを感じます。野梅(やばい)の句は、よく東海自然歩道を歩いていたころの作で、山裾の小川に丸木橋があり、足助あたりの野に梅がみごとでした。3, 4句目は郷里館林城址の景ですが、今では市役所、文化会館などが建ち、梅林は少なくなりました。谷川は月ヶ瀬、茶屋ひとつは佐布里、宿の女将は岐阜梅林、紅梅は奈良での作です。紅梅の艶っぽさと久米仙人が神通力を失った話などを思った句です。

私のメールアドレス [koshizawa@oregano.ocn.ne.jp](mailto:koshizawa@oregano.ocn.ne.jp) です。お便りお待ちしております。



### 竹頭木屑

越澤 博

#### ○ 老齡基礎厚生年金

このページを書こうとしていましたら、日本年金機構から公的年金等の源泉徴収票が送られてきました。支払金額に対して社会保険料の金額が多いのにビックリしました。22.5%強です。介護保険料額が6.9%、長寿医療保険料額が15.6%です。年金暮らしも大変です。

#### ○ 2010年度難病関連予算(案)

厚生労働省の2010年度政府予算案が発表されました。難病関連予算(案)

09年度予算 23,835,000,000円 (238億3500万円)

10年度予算 28,194,100,000円 (281億9410万円)

差し引き 4,359,000,000円 (43億5900万円)

対前年比 118%です。

難治性疾患克服研究事業は当初09年度の100億円を下回る75.5億円の概算要求でしたが、患者会始め、要望が強く、前年並みの100億円を確保したそうです。

現在、国会請願署名運動をお願いしていますが未だの方は月末までにお送り下さい。



#### ○ 22年度、友の会総会を5月1日に予定しています。

場所は例年通り、名古屋市総合社会福祉会館(北区)・大会議室です。今年も総会に引き続き医療講演会を開催します。午後1時から3時。講師は友の会の『会報』でお世話になっています名古屋大学神経内科渡辺宏久先生です。詳細は次号で発表します。お楽しみに。

〔原稿募集〕 あなたの生活体験、生きる喜び、こんな事ができます、  
友の会と私など、実体験を書いてください。  
あなたの体験が、どこかで誰かを勇気づけています。

〔原稿送付先〕

\*郵 送 : 〒458-0812 名古屋市緑区神の倉4-149-4  
池田 幸夫  
\*FAX : 052-876-1209 (TELに同じ)  
\*メール : ikeda11009@tea.ocn.ne.jp

### 〈編集後記〉

最近、時の経つのが早いと切実に感じますが、皆様は如何でしょうか？

1月3日 中日新聞・サンデー版の飛島圭介さんのコラム“おじさん図鑑”に面白い見解が載っていました。無断で転載させていただきますと；

実感としての1年は年齢が分母で、1年(365日)が分子との事。つまり年齢によって一年を何日として実感できるかという、生まれたての赤ん坊は一年をそのまま365日として実感できる。2歳になるとその実感は182.5に、3歳では122日。40歳では9日、50歳では7日、60歳では6日の数字になるという事。

数値化すれば何かが分かるのでは！ と飛島さんは考えられたそうですが、別に何の役にも立たないという事が分かったそうです。

でも、歳はとりたくないですね。歳はふえるのに、髪の毛は少なくなっていくばかり。

(池田)

- ・編集人 : 愛知県パーキンソン病友の会 池田 幸夫
- ・発行人 : 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会  
〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21  
TEL : 03-3416-1698  
FAX : 03-3416-3129
- ・加入者 : 全国パーキンソン病友の会愛知県支部 越澤 博  
〒458-0847 名古屋市緑区浦里1-68-508  
TEL/FAX 050-3335-4970
- ・定価 : 500円